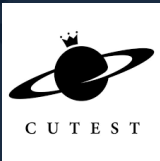




どんなライフステージでも女性が輝ける地域 -宮城- を目指して
Impact Report 2024-25【サマリー版】



やりがいも所得も満たされる「良質な雇用」と 時間や場所に縛られない「働き方の選択肢」を地域に増やす

2011年当時、所属していたMicrosoft社の出張で宮城県石巻市に滞在中、東日本大震災が起きました。「故郷である東北に対して、未来世代に自分が残せることは何か」と考え、地域課題解決と経済性を両立するビジネス開発を志し、2016年に起業しました。

それ以来、東北地域経済活性を実現するために海外からの旅行客を誘致する「インバウンド事業」から挑戦し、地方自治体や教育機関、地元企業等の様々なステークホルダーと連携しながら観光活性事業、起業家育成事業、地域商社事業、「まちの人事部」事業、人材育成事業など複数の会社や事業をグループで生み出してきました。

そのような活動を展開していく中で、持続可能な地域づくりを目的としたどんな事業を推進するにも、「今そこにいる人たちにとって地域が魅力的であること」が重要だと再認識したのです。中でも、自社の社員の多くを占める層でもある「働き盛りで（現在／これから）子育てにも取り組む現役世代」にとって希望を持てる地域であることが重要だと考えました。

弊社や、他の地元企業で働く女性たちにヒアリングをすると、「子育てに十分な所得と可処分時間の確保」に関する不安が数多く聞こえてきました。特に中山間部に住んで働く女性からは、「出産・育児のため転職や転出も考えている」という声、都市部で働く女性からは「子どもはほしいが、仕事を続けたい気持ち強く、実家も遠いので子育てと仕事の両立ビジョンが描けない」といった声が挙がりました。

現役世代が住みよい（価値観、所得水準、暮らし環境）と感じられる地域にしなければ状況は改善しない。これまで開発してきた地域活性化事業を成長させることや、新規事業開発を通して女性のリスキリングと域内中小企業のDX推進を行うことで、やりがいも所得も満たされる「良質な雇用」を地域に増やすことと、時間や場所に縛られない「働き方の選択肢」を増やすことに取り組んでいく。女性に限らず、弊社は地元企業のメンバーと対話を進める中で、このような目標が生まれました。

しかし、この目標は、自社だけの努力で達成できるものではありません。域内外の仲間をつくり、協働し、前進させていく必要があります。特に「子育て環境」の改善については、代表の中原社長が弊社の卒業生でもある、株式会社キューテストさんとの連携が鍵になる、と直感しました。域内外で近い課題感を持ち、それぞれの得意領域から解決に取り組む企業や団体と協業することで、解決を加速させてまいります。



株式会社Wasshoi Lab
代表取締役 齊藤 良太

「頼りながら育てる」が当たり前の社会を、まずは宮城から



株式会社キューテスト
代表取締役 中原 絵梨香

私にはお母さんがいません。

私が小学校1年生のとき、妹が生まれ、母は“産後うつ”で亡くなりました。当時の私は「自分がいい子にしていないからお母さんがいなくなっちゃったんだ…」と自分を責めました。

それから20年経った2018年、私は母になりました。当時住んでいた宮城県丸森町では頼れる親族がいなかったばかりか、仕事の都合で夫との同居も叶わず、一人で不安な妊婦生活を送っていました。そして夫の実家がある香川県に里帰りし出産しました。

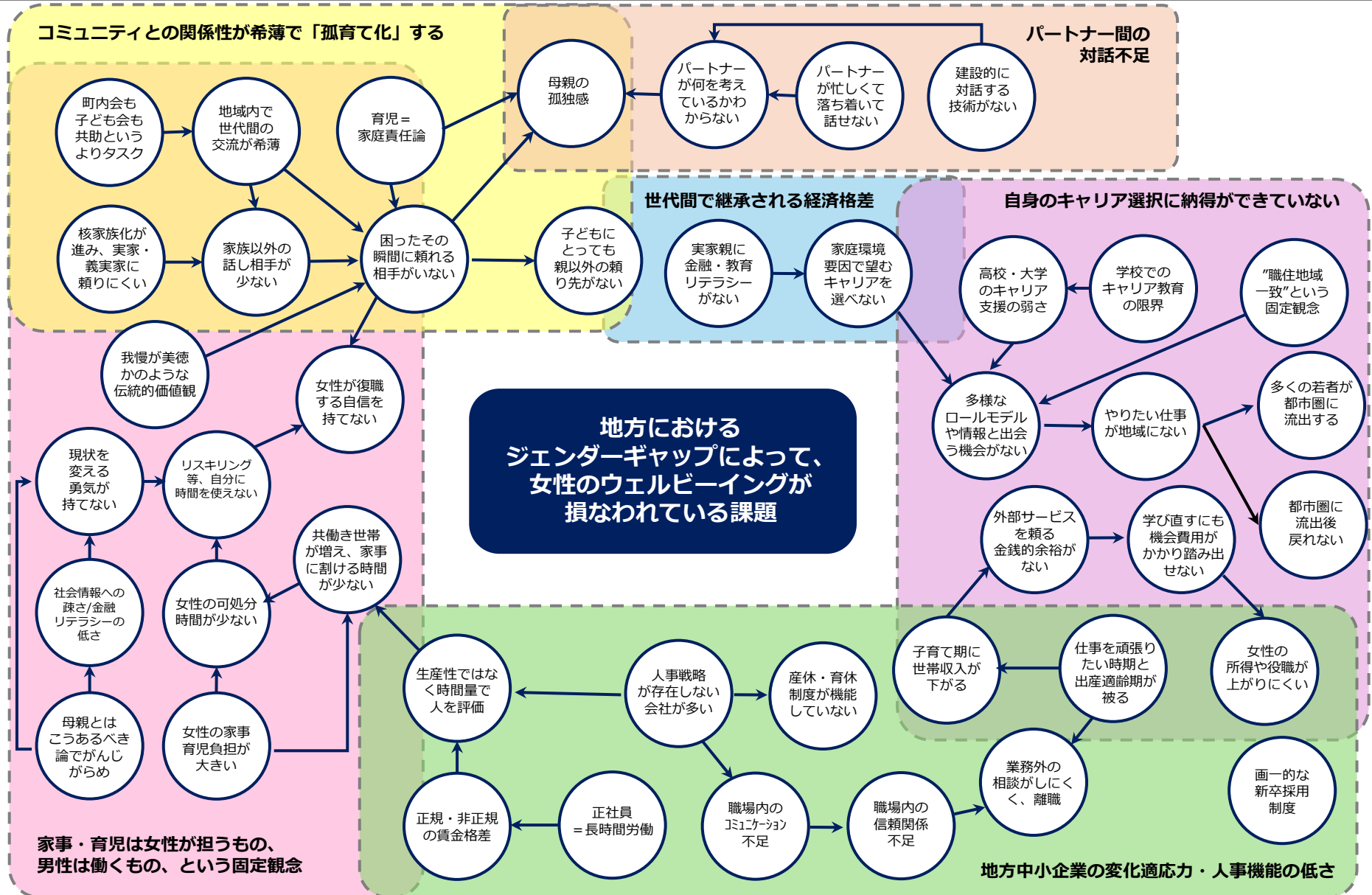
日本では親族頼りの産後生活、里帰り出産文化、女性中心の子育て、女性に偏った家事育児負担…このような根強い価値観や古くからの子育て文化は、赤ちゃんを産み育てる女性の生活スタイルやキャリア選択を阻んでいます。

このような社会背景、自分自身の産後の家事育児負担で苦労した経験から2021年「0歳0か月から頼めるベビーシッター家事代行 Family Sitter 仙台」を起業しました。保育士を中心に採用し、質の高いベビーシッター、そして離乳食や幼児食にも対応した家事代行サービスを提供する環境を構築してまいりました。起業当初は女性の利用者がほとんどでしたが、現在では男性の利用者も半数を占めるようになりました。家事育児で悩んでいるのは女性だけではなくたのです。

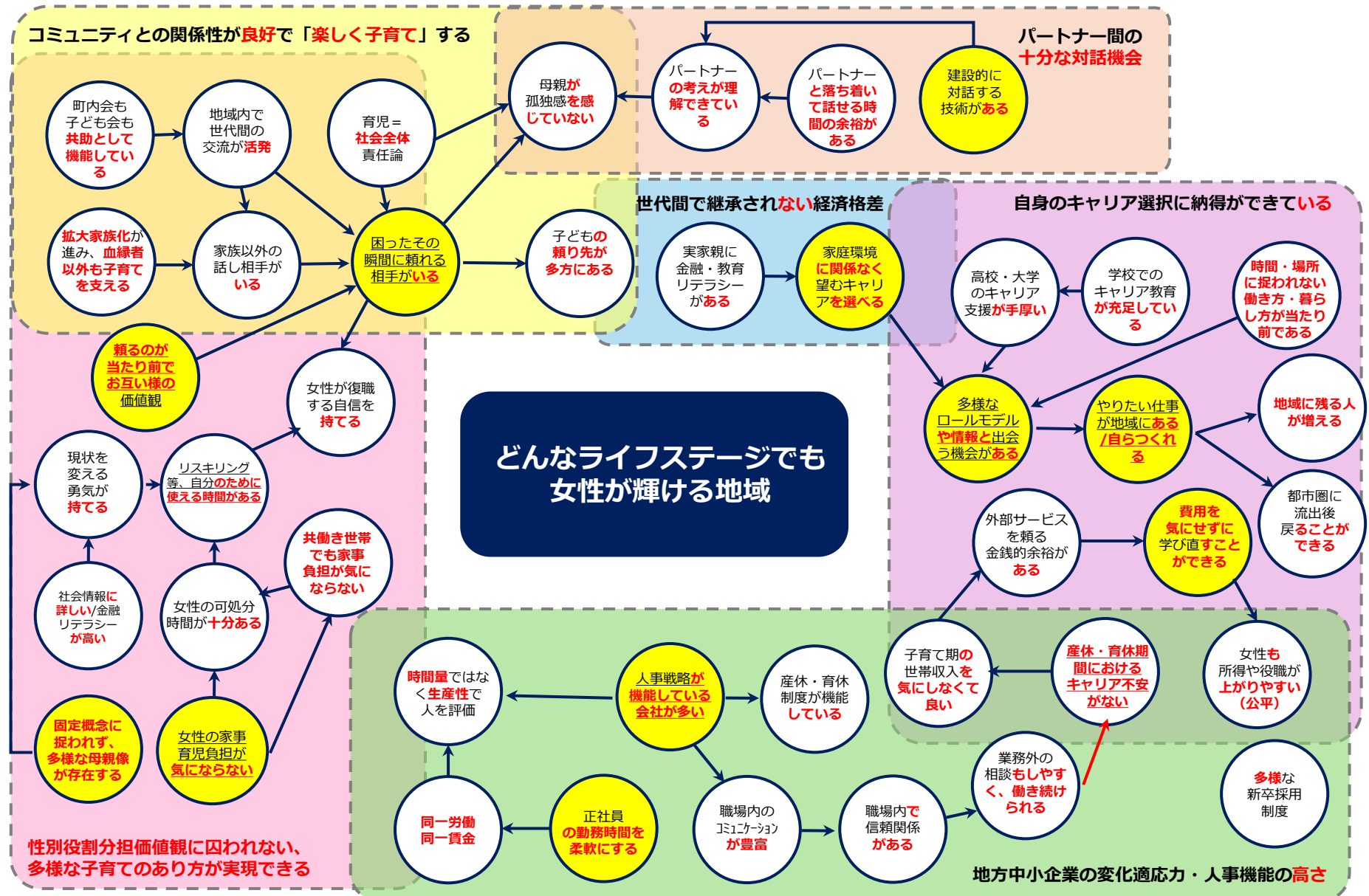
家事育児代行の力で、女性が子育てをしながら働くことをサポートすること、それは男性も子育てをしやすい環境になる。また、このようなサービスが地域に広がることは、条件不利地域や中山間地の多い宮城で、自分たちらしい安定した子育てを実現することに繋がると実感しています。

この課題は既に子育て当事者だけでは解決できない課題だとも思っております。Wasshoi Lab様や地域の企業の皆様と小さな一歩を積み重ねた先に、「頼りながら育てる」（そして地元企業も、力強く発展していく！）そんな未来が実現できると信じております。まずは宮城から新しい子育て文化を始めましょう。

キャリア形成と子育てにおけるジェンダーギャップに係る課題構造マップ



課題構造反転（ポジティブ）マップから見るレバレッジポイント



私たちが目指す社会



インパクトストーリー (Theory of Change)

最終到達地点

どんなライフステージでも女性が輝ける地域 -宮城-

目指す社会像

ライフステージの変化を経ても、経済的・時間的制限を超えて、在りたい人生を「選択できる」

地域ぐるみでの助け合いが定着し、母親が「子育ては楽しい」と実感する余裕ができる

事業効果として生み出す受益者の変化

地方在住でも、多様なロールモデルを参考に自分らしい就業・起業を成功させ、経済的自立を達成！



これからキャリア選択する若年女性

性別に関係なく自分らしく活躍できる魅力的な企業が地域に増え、働きがいも所得もアップ！



働き方・生き方を見直す女性社会人

安心して子育てや家事サポートを頼れる先が増え、自分の自由時間や心の余裕が生まれる！



子育てしながら働こうとする女性

事業結果

- ✓ 長期インターン参加人数
- ✓ リスキングプログラム参加人数
- ✓ 資格取得率
- ✓ 就業率

- ✓ 参加企業数
- ✓ マッチング数
- ✓ 就業継続率

- ✓ 戦略人事実践企業数
- ✓ 従業員の働きがい満足度
- ✓ 家事育児講座受講人数

- ✓ サービス提供人数
- ✓ サービス提供時間数

事業の活動

個人サポート

インターン機会、リスキングプログラム提供

企業/仕事と人のマッチング

域内の優良企業と求職者のマッチング機会

企業変革・組織開発

企業の戦略人事実践伴走、従業員向け研修講座

家族サポート

ベビーシッター、家事代行サービスの提供

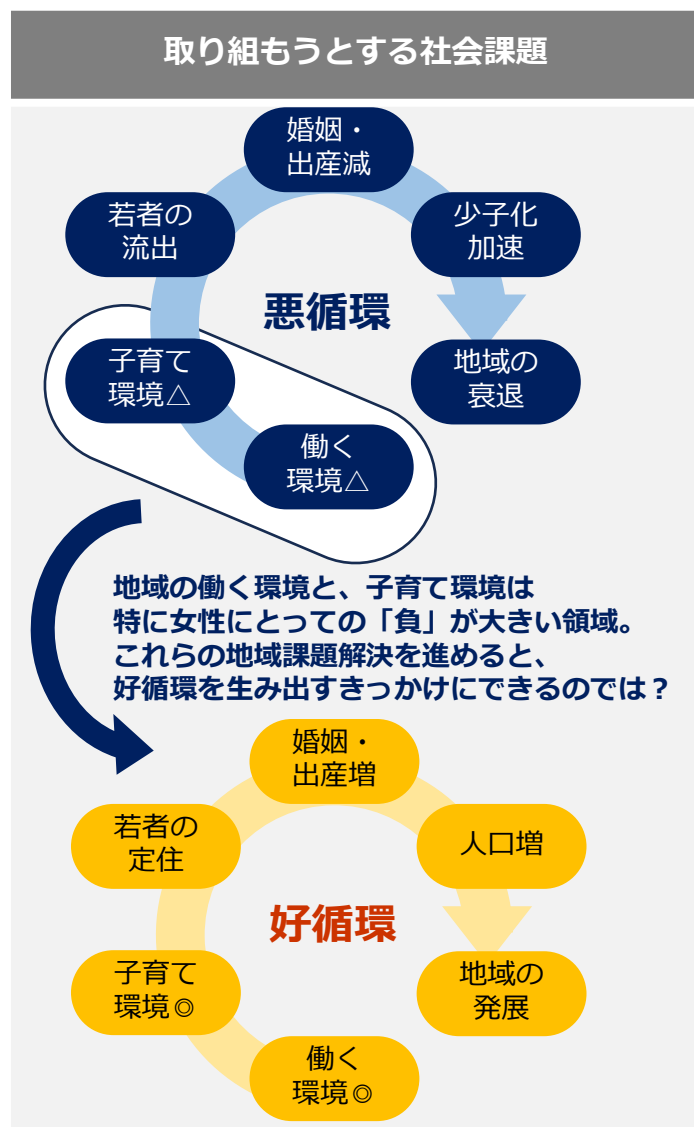
ローカル・ゼブラ企業2社で変革を主導する

本インパクトレポートの第一章、第三章は、株式会社Wasshoi Labと株式会社Cutestの2社が連携し、複数の域内企業や伴走者、専門家とともに推進した地域エコシステム全体のビジョンや展望を記載します。（主語が「私たち」とある部分は、この2社を指します）

株式会社Wasshoi Labは、2016年に設立以来、東北の地域活性に係る様々な官民連携事業（観光、地域商社、教育、人材、移住定住等）に取り組みながら、「地域人材の育成と働く環境整備」への関心を強めてきました。

株式会社キューテストは、2021年に設立され、0歳0か月から頼める宮城・仙台の家事代行・ベビーシッターとして、「地域の子育て環境整備」に取り組んできました。

本事業では、上記2社が中心となり、多様なステークホルダーを巻き込みながら地域の働く環境課題と子育て環境課題を同時に解決し、宮城が「どんなライフステージでも女性が輝ける地域」となることを目指します。



ローカル・ゼブラの商品・サービスを通じたソリューション



Wasshoi Lab

働く環境
課題解決事業



受益者：スキル不足、育児・家事・介護等で稼働時間が限定され選べる仕事に限られており、所得に不満を抱える女性

＜IT人材育成・就労支援事業の概要と収益源＞
スキルアップしたい女性向けにSaaSの活用・導入・営業スキル獲得機会をリスティングとして提供。
スキルを持った人を雇用または業務委託で連携し、BtoBでDX・営業アウトソーシングサービスを販売することで収益を獲得するモデル。



キューテスト

子育て環境
課題解決事業



受益者：産前～小学生の子を持ち、家事育児について親類などの頼り先がない女性。自由なシフトで働きたい保育士。

＜ファミリーシッターの概要と収益源＞
保育園勤務経験5年以上の保育士有資格者を雇用し、ベビーシッター・家事代行・産前産後サポート・病院健診への同行・オンラインカウンセリングなどを提供。子育て家庭の心強いサポーターとしてBtoCでサービスを販売するモデル。

お問い合わせ

WEB : <https://fairlab.jp/>

上記サイトのお問い合わせフォームより、
ご連絡いただければ幸いです。